

製販の結束強化しさらに発展

会会 井栗 第7回総会

絆大切に相乗効果発揮 新会長に稲垣博史氏

栗井機鋼

管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」(会長栗井機鋼氏)が、9月28日(水)に福岡市中央区のホテルニューオータニ博多で第7回総会を開催した。

新会長に稲垣博史氏(元同社社長)が就任し、栗井機鋼の結束強化とさらなる発展を期すことが決まった。

稲垣氏は「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。



稲垣博史氏(新会長)あいさつ



栗井機鋼会長あいさつ



上坂泰盛会長あいさつ



第7回総会

3年ぶりのリアル開催となった今回は、アジア開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し中止せざるを得ない状況となり、昨年も収束の兆しが見えずWeb形式で開催となった。栗井機鋼の結束強化とさらなる発展を期すことが決まった。

稲垣氏は「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

稲垣氏は「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。



ゴルフ参加者での記念撮影



観光組での記念撮影

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。

栗井機鋼は、管工機材と住宅・環境メーカーで組織する「栗のゲートウェイ」として存続を模索する「栗井機鋼」の歴史を語り、同社の発展に貢献した先輩社員に敬意を表した。また、同社の将来について語り、同社の発展に貢献することを誓った。